



さかもとりょうへい
坂本亮平 議員



多角的視点からこれからのまちづくりを考える

議員 自然環境や立地など既存の資源を活用し関係人口を増やす施策としてスポーツツーリズムが考えられるが市の見解をたずねる。

政策部長 空き家バンクの登録件数を増やし、多様な選択肢ができるよう、登録のハードルを下げる取組の一環として考えたい。

市長 観戦型のイベントだけでなく、体験型のイベントについても、大会前後に市の物産や歴史などを巡る観光や宿泊をセットにしたツアーの企画等を検討したい。スポーツ行事と観光をマッチングしながら、スポーツツーリズムを構築し、交流人口、関係人口の増加を図っていく。

議員 デジタル化が進む中、本市もインターネットから笠岡ファンを増やすことはできないか。

市長 オンラインなどのツールを積極的に活用しながらシティプロモーションを実施し、人口増加に繋げたい。

議員 空き家対策の一つとして、スポーツ大会やイベント等で市に来られる方、帰省される方等に、空き家に宿泊してもらい、笠岡に触れてもらう。こういった取組ができるか。

政策部長 シティプロモーションの一環として、昨年オンラインイベントを開催し好評を得ており、お試し住宅に泊まってみたい、笠岡に来てみたいという声もいただいている。このような取組も大事だと思っている。



くわだ まさあき
桑田昌哲 議員

梅雨時期の防災対策について問う

議員 ウェブ版のハザードマップを作成し、気象庁のキキクル（危険度分布）とマッチングすれば、危険情報の複合化ができ、防災アイテムになると思うがどうか。

危機管理部長 ウェブ版のハザードマップは、変更した地域の部分的な修正や、避難時にスマートフォン等を使うことで避難の目安ができるなど、利点が非常に多いと考えており、今後も導入に向けて努力していきたい。

議員 避難所の感染防止対策として、PCR検査、抗原検査数を増やすことを県へ要請できないか。

危機管理部長 PCR検査の検査可能人数や場所などが増えるよう、県へ要望してまいりたい。



健康増進法改定後の禁煙者と喫煙者への配慮は

議員 市として、たばこを吸う人と吸わない人への配慮をどう考えているか。

市長 望まない受動喫煙防止に関する正しい知識の普及、啓発のための広報活動を継続して行う。また、たばこを吸わない人の健康を守るため、分煙エリアの環境整備について研究する。

議員 研究するといって法改正から3年経っている。民間企業は禁煙者、喫煙者両者へ配慮している。分かりやすい区分、喫煙所の確保について早期に対応できないか。

総務部長 健康増進法の趣旨に基づき、喫煙所を設置せず現在まで来ている。屋上も安全管理が難しく、現在は考えていない。